「大阪市高校生こどもまんなかワークショップ」実施報告書

２０２６（令和８）年７月

大阪市こども青少年局企画部企画課（企画）

目次

1　高校生こどもまんなかワークショップについて
（１）実施目的　1
（２）実施概要　1
（３）ファシリテーターのプロフィール　2
（４）実施プログラム　2

2　ワークショップ実施報告
（１）アイスブレイク　3
（２）グループディスカッション～各グループからの発表まとめ～
■Ａグループのテーマ：学校・交通・町　4
■Ｂグループのテーマ：交通・学校・課外活動　5
■Ｃグループのテーマ：教育・地域とのつながり・治安　7

3　主な意見の集約結果　8

4　ファシリテーター、市長コメントの概要　9

5　参加者アンケート結果　11

1　高校生こどもまんなかワークショップについて

（1）　実施目的

大阪市は、こどもまんなか社会の実現をめざし、こどもや若者の意見をこども施策に反映させるため、大阪市内在住のこどもや若者から、本市のこども施策について、思っていること、感じていることなど、様々な声を令和５年８月から受け付けています。お寄せいただいた声は、大阪市ホームページ『「こども・若者の声」を募集します』に公表していますが、これまでいただいた声の中には高校生世代の声が少ない現状を踏まえ、高校生の皆さんに楽しみながら、大阪市のこども施策について考えてもらい、率直な意見やアイデアを出してもらうことにより、今後の大阪市のまちづくりに役立てるため、高校生を対象としたワークショップを開催しました。

（2）　実施概要

ワークショップの実施概要は次のとおりです。

項目	内容
対象者	大阪市内在住若しくは市内高等学校等に在学の高校生又は市内在住の高校生世代
募集方法	大阪市ホームページ・大阪市広報掲載の行政オンラインシステムを通じて募集
申込状況	高校生世代 11 名、その他１名
参加者	高校生世代９名
開催日時	令和８年７月 31 日（金）14 時～16 時
開催場所	大阪市役所Ｐ１階（屋上）共通会議室
共催	大阪公立大学



募集チラシ



当日会場

（3） ファシリテーターのプロフィール

〇大阪公立大学現代システム科学研究科　伊藤 嘉余子教授

社会福祉学（児童養護・子ども家庭福祉・社会的養護）を専門とし、社会福祉士・保育士の資格をもつ研究者。教育・研究に加えて NPO 法人 CAP センター・JAPAN 理事長を務めるなど、研究と社会活動の両面から子ども家庭福祉の発展に貢献している。

・大阪公立大学学長補佐

・大阪公立大学教育福祉研究センター長

・大阪市児童福祉審議会委員　など

〇伊藤 嘉余子教授のサポートとして以下のスタッフもファシリテーターとして参加

・こども・子育て支援会議こども・若者委員　１名

・大阪市児童福祉審議会こども・若者委員　１名

・大阪公立大学の大学生　１名

（4） 実施プログラム

ワークショップ当日の流れは次のとおりです。

区分	内容
開会のあいさつ 事務連絡	・事務局より開会のあいさつ ・こども青少年局長よりあいさつ、ファシリテーター紹介 ・ファシリテーターあいさつ ・事務連絡
アイスブレイク	大阪市クイズ
個人ワーク グループディスカッション	（1） A～Cの３グループに分かれ、「大阪のいいところ」（ピンク色の付箋)、「大阪のここがもったいない、惜しいところ」（黄色の付箋)、「大阪のここが絶対ダメ」（水色の付箋）の３つの区分で意見を出し合い、模造紙に貼ってグルーピングを行う。 （2） グループで話し合い、解決したいテーマの優先順位１位～３位を決め（テーマを３つにしぼり)、最後に、解決したいことに対する改善策を考えてまとめる。 ※グループディスカッション後半から市長参加
グループ発表	グループごとの検討内容を発表し、全体で共有する。
ファシリテーターコメント	８ページ（1）のとおり
市長コメント	８ページ（2）のとおり
記念撮影	ファシリテーター、市長、こども青少年局長と共に記念撮影
閉会	事務局より閉会のあいさつ

2　ワークショップ実施報告

（1）　アイスブレイク

緊張感を和らげ、グループディスカッションへスムーズにつなげることを目的として、大阪市に関するクイズで声を出し、グループでそれぞれが意見を出し合い、意見をまとめる練習をしました。具体的には、ファシリテーターより練習問題１問、「大阪市クイズ」９問を出題し、グループ対抗としました。







（2）　グループディスカッション　～各グループからの発表まとめ～

■Aグループのテーマ：学校・交通・町





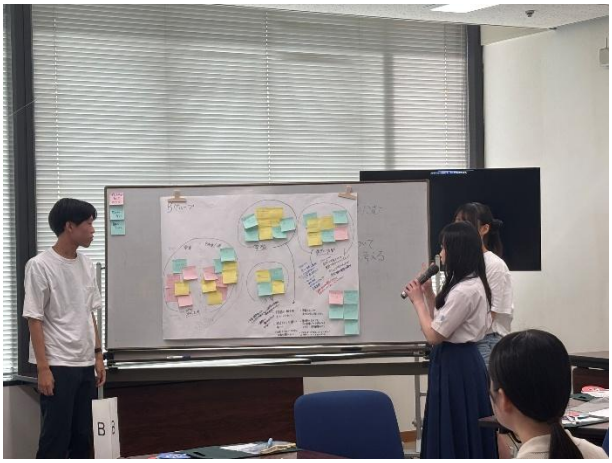
学校	
ここが惜しい！	改善策・要望
○高校の授業料無償化の制度について、申請手続きが面倒くさい。	○手続きを簡素化してくれたらもっといい。
○中学校になぜあるのかわからないような校則がある。例えば、スカートの１回折り禁止や髪形など。誰にも悪影響を及ぼさないことを、やってはいけないとされている。	○もっと生徒の意見を聴いて変えやすくなるような制度を作る。例えば、どこまでをOKにしてほしい、どこからがだめか、自分たちで決めて提案できるような環境を作る。
○生徒から先生へ物申す制度があるが、形式的なもので、あまり機能していない。	○変えたい人が中心になり、投票や代案を考えるなど、先生と折り合いをつけながら自分たちでもっといい校則に変えていけるような制度を作るのが大事。
○小中学校の支援学級の先生が、普通のクラスをもつ先生と同じ人がやっているために、障がいについて理解されず、叱られることがある。	○支援学級の先生は、障がいに対する知識をもった先生にお願いしたい。

交通	
ここが惜しい！	改善策・要望
○交通手段が多くて、電車や自転車でいろいろな所に行けるが、放置自転車が多い。	○放置自転車を撤去してほしい。
○（中央区には）一方通行の道路が多い。今は自転車が歩道を通行できない。自転車でどこをどう通っていいのかわからない。	○駐輪場を増やしてほしい。 ○道路の幅を広げてほしい。

町	
ここが惜しい！	改善策・要望
○市、府ともに治安が悪いイメージがある。 ○飲酒でつぶれている人が多い。 ○公園のトイレが汚い。	○防犯カメラをもっとつける。 ○パトロールを強化する。 ○飲酒の量を制限できるよう、声かけを増やしてほしい。 ○掃除していただく人の給料を上げて、きれいにしてもらう。

■Bグループのテーマ：交通・学校・課外活動





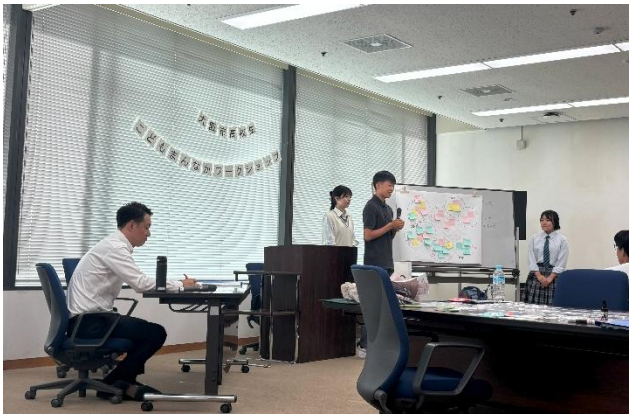
交通	
ここが惜しい！	改善策・要望
○環状線が初見殺しすぎる。 ○なにわ自転車道や緑陰道路などあるのはいいが、自転車をとめる所がとにかくないために、結局帰ってしまうことが多い。 ○車道も歩道も、どちらを通っていいのかわからない。	○高架下など空いている所に駐輪場をつくればいい。駐輪場があれば、自転車を停めて、そこでご飯を食べられるし、経済も回せる。 ○「大阪の交通観光アプリ」みたいなものに包括してしまえば、環状線の問題も解決するし、道もわかる。 ○アプリにお店を表示することで、広告費もとれる。

学校	
ここが惜しい！	改善策・要望
○中学校に給水場を作ってほしい。水道水から虫が出てきたり、水が濁っている。	○給水機や給水場をつくってほしい。
○中学校には和式トイレしかない。 ○私学の高校だけかもしれないが、国公立大学の受験ではなく私立大学の受験しか考えていないため、文系の人が数学の科目を取ることができない。	○洋式トイレを増やしてほしい。 ○文系の人でも理系科目を授業でやってほしい。 ○体操服で登下校させてほしい。 ○私立高校と公立高校ともう少し連携をとってほしい。

課外活動	
ここが惜しい！	改善策・要望
○学校の外で学生が勉強できる所、グループで話し合いできる所が少ない。 ○最近は探求活動をする学校が多いと思うが、自分たちで考えたビジネス案などを実践で使う場所がない。	○室内のクーラーのついた共有スペースを無料で使えるようにしたい。グループディスカッションや自習室、不特定多数の人が探究活動の実践場所として使えたらいい。
○高大連携プログラムなど、いろいろな面白い活動をできる場所があるのに、その情報があまり学校に伝わってこない。	○学生にとって、いろいろな情報を集めた冊子やアプリなどを作ってほしい。 ○サマーキャンプや課外活動に関してのコンテスト、ワークショップなどのイベントや高大連携プログラムを、市や府の単位で実施してほしい。学校単位で実施しても他校とつながっていないと、あまり広がらず、より発展した内容に届かないと思うから。
○学校によっては、ポスターが隅っこに貼られている。やりたかったなと思うものも、目につかないために気づくことができない。	○生徒全員が手に取ったり、目につくような形でポスターを貼ってほしい。

■Ｃグループのテーマ：教育・地域とのつながり・治安





教育	
ここが惜しい！	改善策・要望
○平日、土曜日は学校で勉強できるが、日曜日はカフェ以外に勉強できる場所がない。	○市の施設を利用して勉強できるといい。

地域とのつながり	
ここが惜しい！	改善策・要望
○イベントやこども食堂をやっているのに、伝わっていない。 ○子ども会がない地域がある。 ○子ども会の認知度が低い。 ○幅広い世代で集まることが大事。下の子から上の子に相談したり、自分たちが大人の方に相談したりできる環境がほしい。	○もう少し地域の人とのつながりを大切にしたい。 ○子ども会をもっと知ってもらったり、新しく作ったりして、もっともっと広がってほしい！ ○市が問題解決につながるいい動きをしていても、伝わらなければ意味がない。インスタやTikTokなどのSNSを活用することによって、認知していけたらいい。

治安	
ここが惜しい！	改善策・要望
○ネグレクトやグリ下問題など。	○地域のつながりができたら、事案が減っていくのではないか。

3　主な意見の集約結果

（1）　学校について

○「学校」に関する意見は２グループから出され、意見内容で最も多かったのは校則に関するものとなっています。

○校則に関する意見は、中学校における体操服での登下校禁止、スカート１回折りの禁止、髪形などに関する校則に対し、誰にも悪影響を及ぼさないことを禁止する意味がわからないという意見が多く出されています。校則のあり方そのものに対する意見として、生徒の意見を聴いて反映してほしい、自分たちで提案し校則を変えていけるような環境をつくることが大事という意見が出されています。

○学校施設の改善（廊下にクーラー、給水機や給水場、洋式トイレなど）を求める意見が出されています。

○そのほか、高校授業料無償化の手続きの簡素化を求める意見や、障がいに対する知識をもった先生を支援学級の担任にしてほしい、文系選択でも理系科目を履修できるようにしてほしいなど、幅広い意見が出されています。

（2）　交通について

○「交通」に関する意見は２グループから出され、放置自転車や道路などに関する意見が多く出されています。

○電車が便利、アクセス良好という肯定的な意見が出される一方、一方通行の道路が多く自転車がどこを通っていいかわからない、車道も歩道もこわい、緑を減らして道路を大きくしてほしい、信号が長いなど、自転車利用の際の不便さを訴える意見が多く出されています。

○交通に関する情報を「大阪の交通観光アプリ」に包括すれば、問題解決につながるのではないかという提案も出されました。

（3）　教育について

○「教育」に関しては、日曜日に勉強できる場所がないため、市の施設を利用して勉強できるようにしてほしいという意見が出されています。

（4）　課外活動について

○「課外活動」に関する意見では、学校の外で勉強できる場所、グループで話し合う場所、探求活動の実践の場としてなど、様々な用途に無料で自由に過ごせる居場所を求める意見が出されました。

○高大連携プログラムなど面白い活動ができる場所があるにもかかわらず、情報そのものが学校に伝わらないため、生徒にとって有益な情報を集めた冊子やアプリなどをつくってほしい、ポスターは目につく形で貼ってほしいという意見が出されています。

○高大連携プログラムについては、コンテストやワークショップなど各種イベントの市や府単位での実施を求める意見が出されています。

（5）　町について

○「町」に関する意見では、お店が多い、にぎわっているという大阪らしい意見が出される一方、治安が悪い、公園のトイレが汚いという否定的な意見が出され、防犯・パトロールの強化を求める意見が出されています。

（6） 治安について

〇「治安」に関する意見では、ネグレクトやグリ下問題などを心配する意見が出されましたが、これらの問題を解決するために、地域とのつながりが不可欠だという意見も出されています。

〇学校近くにパチンコや飲み屋がある、飲み屋街がこわい、いじめよりのいじりが多いという意見が出されています。

（7） 地域とのつながりについて

〇「地域とのつながり」に関する意見では、子ども会がない地域がある、あっても認知度が低いため、もう少し地域の人とのつながりを大切にしたいという意見が出されています。

〇イベントやこども食堂など、問題解決に市が取り組んでいる情報が伝わっていないのでは意味がないため、インスタや TikTok などの SNS を活用することにより認知していけたらいいという提案が出されました。

（8） その他の意見

〇塾代助成が中学までしかない、意外と観光スポットがない、観光客のマナーが悪い（ゴミ問題）など。

4 ファシリテーター、市長コメントの概要

（1）ファシリテーターコメントの概要

〇旅行等で大阪市以外の自治体へ出かけたときに、大阪市のここを何とかしたらいいのになというところが、他の自治体だったらどうなのかを見て大阪市に持ち帰り、何かできることはないか、ぜひチャレンジしてほしい。

〇一人の声は小さくとも、生徒会など複数の声になり、きちんと届けば、大人や社会は動く。例えば、無料で学習できるスペース、体操服での登下校、自転車の通る道など、他の自治体はどうやっているのかに注目すれば、何かアイデアを出すヒントになる。

〇「大阪のいいところ」を今日、たくさん確認できたことは良かった。これからも「大阪のいいところ」を活かしながら、それをもっとより良くしていくにはどうしたらいいのか、引き続き一緒に考えていけたらと思う。

（2）市長コメントの概要

〇高校授業料無償化の制度運用については所管が大阪府だが、必要な問題提起については、ぜひやっていきたい。

〇校則については、自分たちで問題提起して、どんどん変えていけるものは変えていっていいと思う。例えば生徒会の役員選挙などで、声を反映して変えていく、自分たちで変えていくということを、ぜひ実現してほしい。

〇治安については引き続き、しっかり取り組んでいきたい。

〇共働きが増え、町会活動や PTA 活動ですらなかなか難しいと言われる時代であるため、町会加入率が 5 割を切っている。若い世代が入ってくれることが実は一番、地域の絆が強くなるので、ぜひ入ってほしい。

〇「学生用アプリ」を作ったらいいという発想は面白い。SNS でもっと発信してほしいというお声をたくさんいただいており、イベント告知などをまとめて SNS やアプリで発信することは非常に重要。今後作った方がいいアプリや使った方がいい手段があれば、具体的に教えてほしい。

〇いずれも皆さんの生活に根付いた本当に素晴らしい問題提起だ。すべて大変重要な意見なので、市政にも参考にしながら、こどもから大人まで、誰もが住みやすいまちをつくっていきたい。


大阪市高校生
こどもまんながワークショップ


大阪市高校生
こどもまんながワークショップ





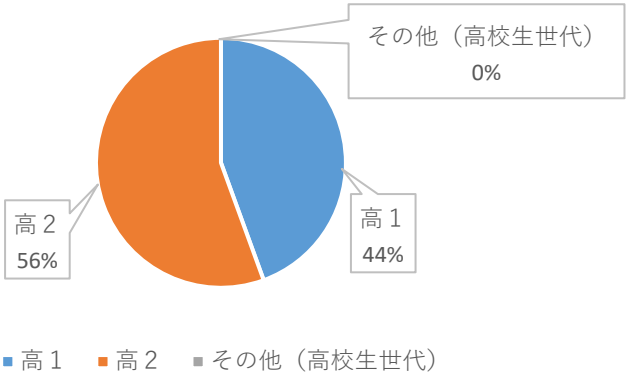



大阪市高校生
こどもまんながワークショップ

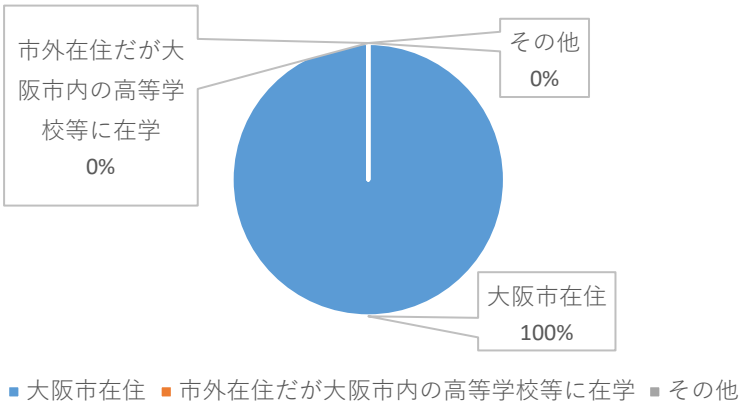
4　参加者アンケート結果

（1）　属性

設問１　学年を教えてください。

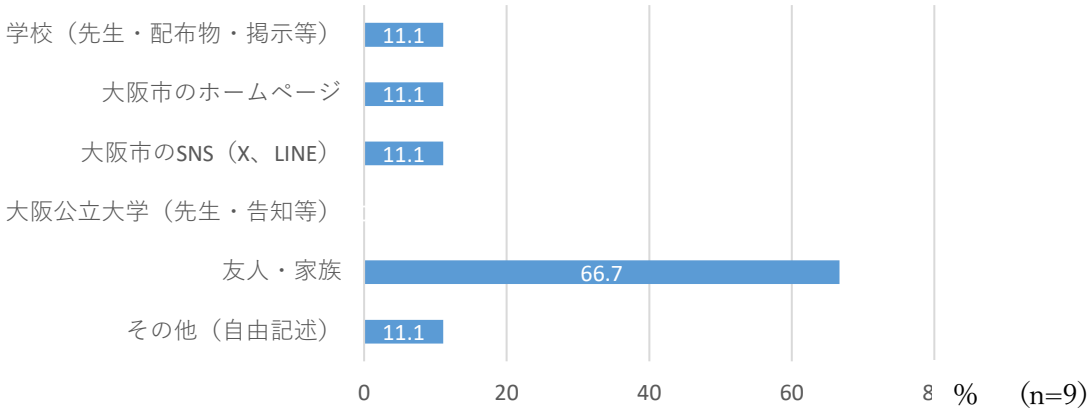


設問２　大阪市との関わりを教えてください。

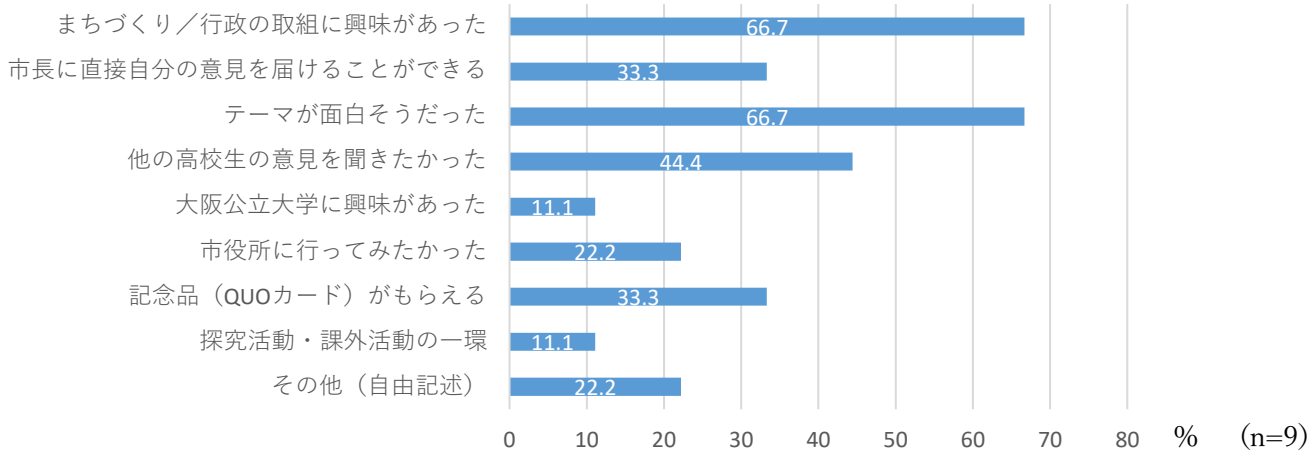


（2）　参加のきっかけ・動機

設問３　参加募集を何で知りましたか。（複数選択可）



設問４　参加しようと思った理由は何ですか。（複数選択可）

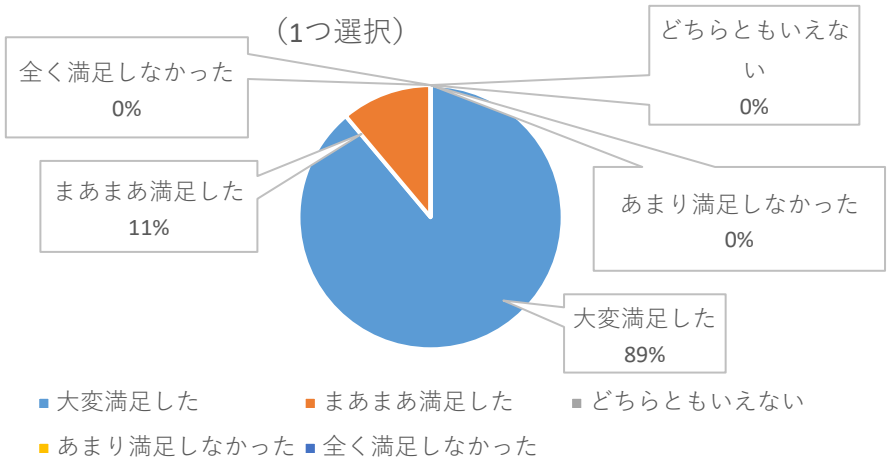


設問５　今後、募集情報を多くの方に届けるため、あなたが見つけやすい場所／知りやすい媒体を教えてください。（複数選択可）

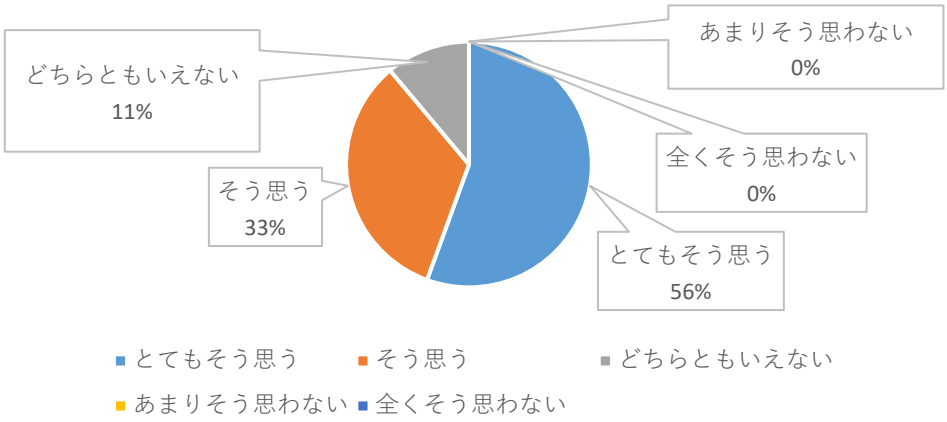
・インスタグラム（５件）
・TikTok（３件）
・SNS（２件）
・X（旧ツイッター）
・学校の配布物
・駅などでの広告を表示する場所
・とにかく学校で宣伝しまくる。

（３）　当日の満足度・参加しやすさ

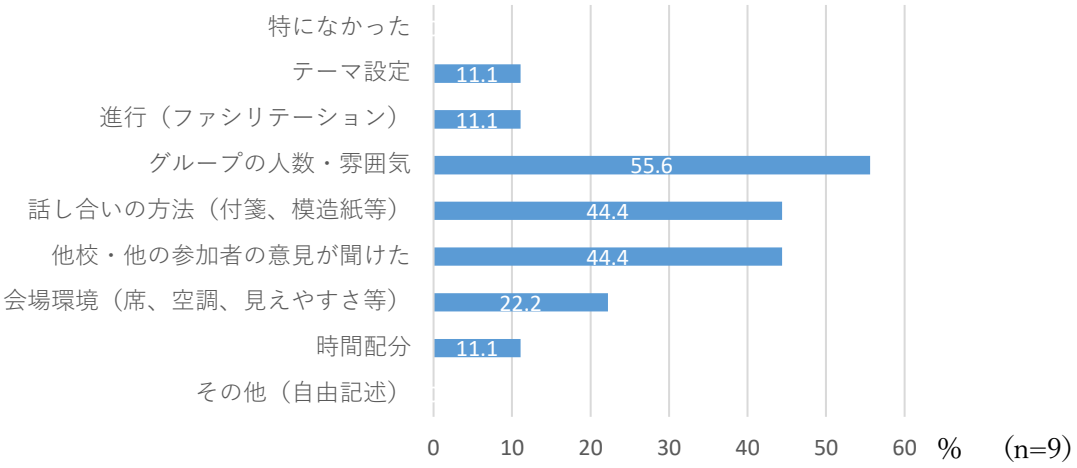
設問６　本日のワークショップ全体の満足度を教えてください。（1つ選択）



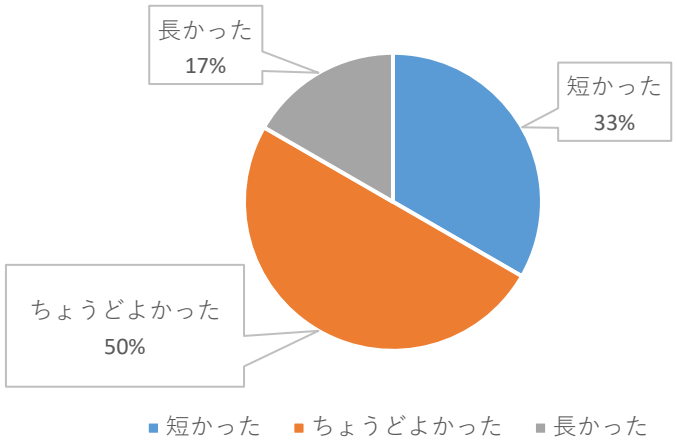
設問７　「自分の意見を安心して言えた」と感じますか。
（１つ選択）



設問８　良かった点を教えてください。（複数選択可）

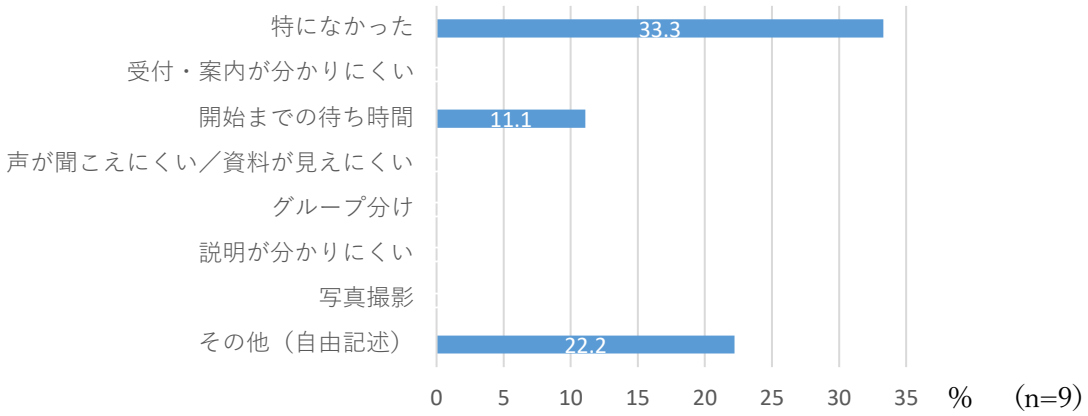


設問９　開催時間（2時間程度）はどうでしたか。
（１つ選択）



（4） 改善点・次回参加意向

設問10 困ったことや改善してほしいことは
ありましたか。（複数選択可）

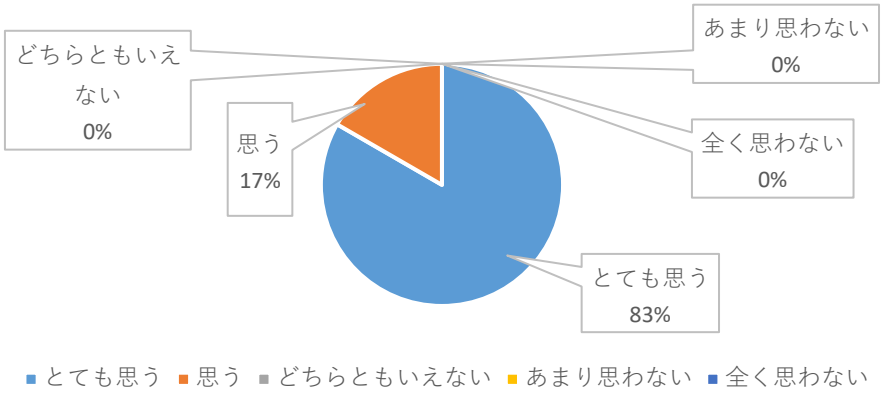


その他（自由記述）

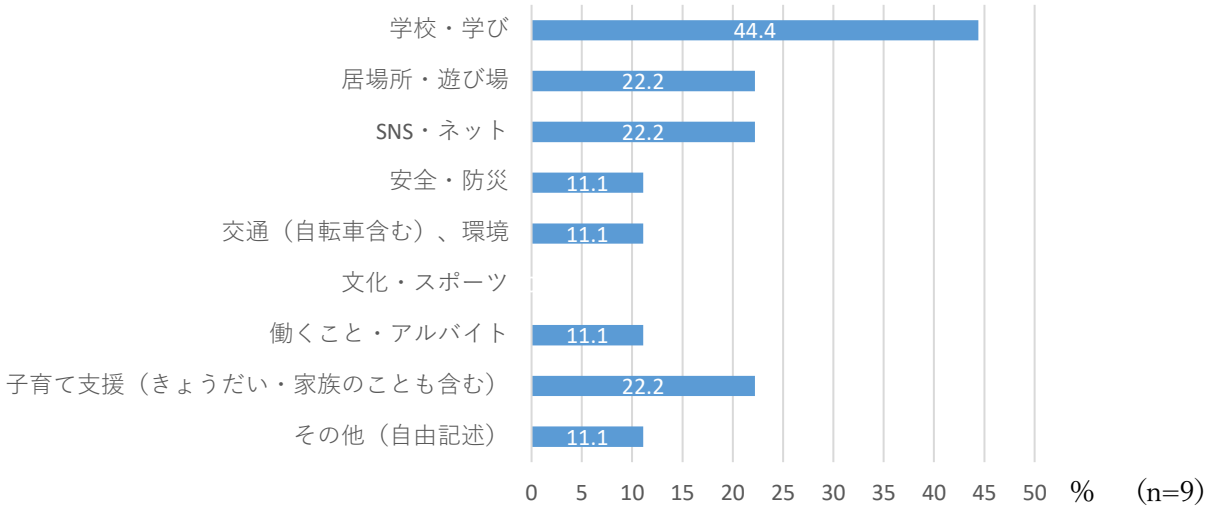
・もう少し意見交換の時間がほしかった。

・QUO カードの 1,000 円が交通費で相殺されて実質 40 円の利益しかない。

設問11 今回のような、行政などに意見を言う機会が
あれば、また参加したいと思いますか。
（1つ選択）



設問12　次に取り扱ってほしいテーマは何ですか。
（複数選択可）



（5）　自由記述

設問 13　本日参加してみて、「大阪をもっとおもしろく、もっと『いいね』が増えるまち」にするアイデアがあれば、ご記入ください。

・大阪を知ってもらう　たくさんの人に！！
・大阪は中小企業などの強みがあるはずなので、支援をしたらいいと思う。
・無料のしせつがほしいです。
・鉄オタから言わせてもらうと、もっと鉄道とかをバンバン開通させてくれ

設問 14　本日のワークショップで言い足りなかったこと、特に市や大人に言いたいことなどがあれば、ご記入ください。

・使われてない場所（ex.公園）を活用してほしいです。
・大阪市役所の SNS アカウントまってます！♡
・副首都構想には賛成だが、あれって大阪に有利すぎないか？